

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市鶴巻児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和6年度 19,196人(前年度比 111.4%) ・令和5年度 17,229人 ・令和4年度 18,073人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 46,738千円(43,730千円) ・ その他市が負担した費用 0千円(0千円) ()は前年度決算額
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円(0千円) ・ その他収入 0千円(0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会総会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、こども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
地域の協力を得ながら子どもと地域が繋がる行事を企画し、地域と共に成長する児童館を運営することができました。また、子どもの社会参画、自己実現を図る事業にも多く取組み、主体的に参加する姿勢を子どもたちに育むことができました。 ●児童健全育成事業 4年生から中学生までの子どもボランティアを募り、館の主催行事「こどものまち」の企画運営と2つの自主企画を行い、地域のリーダー育成を目的に活動しました。また、結成15年目となった子ども劇団「わんにゃんぶう」には高校生メンバーが継続して活動しており、詩人武田こうじ氏の脚本演出の下、練習を重ね館内および外部施設での公演を行うことができました。 ●子育て家庭支援事業 1週間同じテーマで遊ぶ「ポコパーク」では、曜日や年齢に縛られない継続した遊びを昨年に引き続き開催しました。家庭では難しいダイナミックな遊びが好評で、何度も足を運んでいただくことができました。「ほっとサロン」「らららんぼけっと」は講師を迎え、子育てママがほっとできる時間の提供やふれあい遊び、絵本の読み聞かせなどを通して親子で遊ぶ楽しさを伝えることができました。 ●地域交流推進事業 「つるまき☆トリックオアトリート！」では、保護者や地域の方に引率や交通安全指導にご協力頂きながら仮装をして地域の店舗や施設へ訪問しました。また、地域の民生委員の方々には豚汁を作っていただき、子どもたちがまち探検から戻ってきた後、協力者も含めて美味しい豚汁を囲みながら交流を図りました。 ●放課後健全育成事業 保護者会の協力を仰ぎ、今の子ども達にどんな経験をさせたいかをテーマに話し合い、スイカ割りや水遊び、デイキャンプなどを開催することができました。また、こども会議を開き、主に児童クラブの子ども達から広く意見を聞き、実現に向けて職員や保護者の協力を得ておもちゃの持ち込みができる期間を設けました。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、児童クラブを卒所した中高生を中心に職員との語らいや関わり、仲間との過ごし等の場等を求めて来館している。高校生は来館をきっかけに、夏休みや平日の遊びのボランティアを通して小学生との交流が図られている。また子どもボランティアの自主企画による「こどものまち」や子ども劇団「わんにゃんぶう」は、こども達が異年齢の仲間や地域の方と関わる貴重な機会であるとともに、保護者や地域の方に向けて児童館事業やこども達の活動を広く周知する取り組みとなっている。 子育て家庭支援事業においては、ブラレールやみずあそび等、1週間同じテーマで遊びを設定し、乳幼児親子の視点で利用しやすい環境作りを行い、リピーターや来館者増加に繋がっている。また人気のヨガ講座を年2回開催し、保護者の心身のリフレッシュと情報交換の場を提供している他、音楽遊びやふれあい遊び、読み聞かせや季節の制作等、地域の方や関係機関の協力を得て地域の子育て家庭を支援している。 地域交流推進事業においては、地域人材を活用したテニス体験やミニ4駆大会開催の他、「つるまき☆トリックオアトリート」でのまち探索や仮装大会等、地域の方々や関係団体との交流を深めながら、地域全体でこどもの育ちを支える環境作りに努めている。 放課後児童健全育成事業においては、保護者会総会の意見やこども会議の意見を日々の活動に活かしている。夏休みのお楽しみ行事やデイキャンプ等、保護者が活動や行事に参加する機会を設け、保護者との協力体制を構築している。また面談の実施やお迎えの際の情報共有、児童クラブだよりの月刊発行等でこどもに関する情報を共有し、保護者が安心して子育てと仕事を両立できるよう支援している。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課